

事故防止対策研修

「高齢者施設のリスクマネジメント②」のご案内

— 具体的な事故防止対策 —

転倒事故、誤えん事故、認知症利用者の行方不明など、介護事故は防ぎにくい事故ばかりです。ですから、防ぐべき事故と防げない事故を明確に区分して、防ぐべき事故に優先した防止対策を講じなければ、効率的な事故防止活動は期待できません。また、転倒事故など防ぎにくい事故では、転倒しても骨折しない対策などの損害軽減策も重要になります。本セミナーでは、介護事故の具体策を、分かりやすくていねいにご説明します。半分の労力で2倍の成果を上げる秘策を伝授しますので、現場の事故防止活動でお役立てください。

事故防止対策研修の概要

《1》事故防止の具体策

- ・転倒事故 ・誤えん事故
 - ・排せつ介助中の事故
 - ・入浴介助中の事故
 - ・行方不明事故 ・誤薬事故
- 《2》事故対応マニュアルの見直し
- ・転倒事故 ・誤えん事故 ・誤薬事故

●居室の転倒事故は骨折防止対策を
なぜ入所施設の床はひどく硬いの？
⇒むき出しのコンクリートと同じ硬さ

●居室の転倒は防げないので骨折防止対策を講じていると家族に説明

《新任職員向け事故防止対策研修》
理解度確認テスト

次の設問が正しければ○、間違っていれば×を回答欄に記入して下さい。

No	設問	回答欄
1	事故の原因は人のミスなので、人がミスしないように管理することが事故防止で最も大切な事である。	
2	ほとんどの事故は職員のミスが原因なので、十分注意して介護をする。	
3	事故防止活動はミスを見える仕組みづくりが重要である。	
4	できるだけ事故ゼロを目指すことが、責務である。	
5	やるべきことをきちんとやれば、防げる事故もある。	
6	防げない事故をいかに防げるか？という事を中心に防止対策を講じる	
7	事故の評価は損害の大きさや頻度で判断せずに、質で判断する。	

●誤薬事故防止対策の例

ミスの発生を防止する工夫
薬の取り違えにつながる読みにくい氏名の文字

お薬ボックスの文字が手書きで簡単
なぜか氏名の文字が小さいお薬袋

ミスを見えるチェックの仕組み
服薬直前に薬の取り違いと利用者の取り違いをチェック

安全介護セミナー開催要領

- 開催日時：10月19日(木) 16:30～17:30(10月9日メ切)
- 主催：株式会社安全な介護
- 講師：株式会社安全な介護 専任講師 川村亜希
- 受講料：4,400円(税込) | 施設・事業所(PC3台まで)
- 受講方法：Zoomによるオンライン受講
- 提供資料：テキスト・理解度確認テスト
- 申し込み方法：下記URLからお申し込みいただき、所定の口座に受講料をお振込みください。
<https://bit.ly/3y5GgBt>

講師プロフィール

川村亜希 短大卒業と同時に特別養護老人ホームに入社。訪問介護事業所サービス提供責任者、特別養護老人ホーム生活相談員・介護支援専門員を経て、現在湘南医療福祉専門学校教員・社会福祉法人育成会研修センターのセンター長。2018年より株式会社安全な介護リスクコンサルタント。介護職員や生活相談員の実務経験と介護福祉専門学校教師の視点で語る、ユーモアと共感性溢れる講義は秀逸と好評。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 安全な介護セミナー事務局 澤田
mail:soudan@nanasha.co.jp TEL:03-5995-2275